

# 名称類似に関する事例

～再び報告された注意を要する名称類似医薬品の組み合わせ～

ヒヤリ・ハット事例のうち、名称類似に関する「薬剤取違い」の事例が246件報告されています（集計期間：2014年1月1日～12月31日）。このうち、「主な薬効」の異なる組み合わせ及び成分の異なるハイリスク薬を含む組み合わせは特に注意が必要です。2013年に引き続き2014年にも報告された注意を要する「名称類似医薬品」の組み合わせを以下に示します。

医薬品名 (主な薬効)	医薬品名 (主な薬効)
<b>アスパラ</b> カリウム 無機質製剤	<b>アスパラ</b> ーCA カルシウム剤
<b>アテレック</b> 血圧降下剤	<b>アレロック</b> その他のアレルギー用薬
<b>インタール点</b> 眼液 眼科用剤	<b>インタール点</b> 鼻液 耳鼻科用剤
<b>グルファスト</b> 糖尿病用剤 (ハイリスク薬)	<b>グルベス</b> 糖尿病用剤 (ハイリスク薬)
<b>ザジテン点</b> 眼液 眼科用剤	<b>ザジテン点</b> 鼻液 耳鼻科用剤
<b>ゾビラックス</b> 眼軟膏 眼科用剤	<b>ゾビラックス</b> 軟膏 抗ウイルス剤
<b>ノイトロピン</b> 解熱鎮痛消炎剤	<b>ノイロビタン</b> 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）
<b>ノボラピッド</b> その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。） (ハイリスク薬)	<b>ノボリン</b> その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。） (ハイリスク薬)
<b>ファムビル</b> 抗ウイルス剤	<b>ファロム</b> 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
<b>プロパジール</b> 甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	<b>プロヘパール</b> 肝臓疾患用剤
<b>ムコスタ</b> 消化性潰瘍用剤	<b>ムコダイン</b> 去たん剤

- ※1 「主な薬効」とは、その医薬品が対応する個別医薬品コード先頭3桁の医薬品分類を示す。
- ※2 「名称類似医薬品」とは、頭文字が2文字以上一致している医薬品の組み合わせ、もしくはそれ以外で報告事例に名称が類似していることにより取違えたことが記載されている医薬品の組み合わせとした。
- ※3 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成26年年報」106頁 図表1-5、112頁 図表1-10、118頁 図表1-15を改変

